

## 入学者の受入れ方針

### 1. アドミッションポリシー

本学の入学者選抜は、教育目標となる「ライフスタイルの多様化を背景にして、スポーツ享受の一層の多様化と高度化が予測される今日、主体的なスポーツ享受をその諸条件や諸要因の調整、その最適な組み合わせ、主体の意味に沿う有機的な統合等からプロモートするスポーツコーディネーターを養成する」を達成するため、アドミッションポリシーである「スポーツに強い関心を有し、将来、スポーツ享受の質的发展のため、これに関する学問研究の修得を目指したいと願っている人（実技指導の能力を有した者を優遇）」に基づき、18歳以上の有職者である社会人を主な対象として、本学での教育において向上心を発揮し、学問研究を進めることができる者を、次項に示す方法により選抜する。

### 2. 選抜の方法

本学の入学希望者は、スポーツ系企業や教育機関等で教育・研究に携わる社会人が中心であると予測され、学生たちの多くは明確な目標意識と強い意欲、経験値を持っており、その学力と本学での教育効果は、18歳を主な入学対象とした全日制の四年制大学の学生と比較しても、極めて高いと考えられる。これらの社会人は、職場で実践的活動を行いながら、より高度な専門的スキルの獲得を目指すべく、本学への入学を志願すると思われる。よって、次の項目を総合的に判断して入学者選抜を行う。

- (1) 仕事への熱意
- (2) キャリア設計での成功イメージの強さ
- (3) 言葉使いや行動、身だしなみ
- (4) コミュニケーション能力
- (5) 社会における活動実績
- (6) 本学での学習計画
- (7) 高卒者に関しては、スポーツ活動の実績、リーダー経験、将来性等を重視

専門性の高い理論や技術を修得するためには、強い修学心が必要である。したがって、入学希望者には、入学の意思などをテーマにした小論文を課し、これを一つの選抜の基準とする。小論文での文章表現能力が、入学後のレポート課題を最低限こなすために必要な能力となるため、この基準を重視する。

入学試験では、志願理由書、活動歴（職務を含む）、小論文及び面接によって多面的な評価を行う。志願理由書では、本学入学に対しての目的意識と意欲の確認を行う。活動歴は、従事する仕事に関連した教育・研究活動や出身校でのボランティア活動、芸術活動等により判断する。小論文では、文書表現能力が課程の課題をこなしていくレベルにあるかを確認する。面接では、将来設計での成功イメージの強さやコミュニケーション能力、本学での学習計画等について確認する。

### 3. 社会人の受入れ

本学は社会人学生を主な募集対象とするため、社会人の受入れを積極的に進める。本学における社会人の定義は、次の通りである。

- (1) 入学時に満 23 歳になる者
- (2) 入学時に通算して 2 年以上の社会人経験を有する者
- (3) 主たる身分が学生ではない者

### 4. 高等学校新卒者の受入れ

高等学校新卒者の受入れは、本学入学後の生活形態、高等学校での学業成績、出席状況等を十分に審査した上で、本学での学習に対応が可能であると判断された場合につき、受入れを行う。審査は書類審査と面接とする。

### 5. 編入学の受入れ

本学の編入学定員は 3 年次入学生 60 名である。本学における編入学の受入れは、次の各号のいずれかに該当する者である。

- (1) 大学又は短期大学を卒業した者、及び卒業見込みの者
- (2) 大学に 2 年以上在学し、計 62 単位以上を取得した者及び取得見込みの者
- (3) 人文科学系又は社会科学系の専修学校専門課程を卒業した者及び卒業見込みの者

本学では出身校において取得した単位について、次の通り認定を行う。

- (1) 単位の認定は、個別に読替認定とする。
- (2) 認定できる単位数の上限は 62 単位とする。
- (3) 共通科目では 20 単位を上限として認定する。
- (4) 専門基礎科目と専門専攻科目では、それぞれ 20 単位を上限として認定する。

既修得単位の読替表

科目区分	卒業要件単位	編入学者の単位認定
共通科目	40 単位以上	上限 20 単位
専門基礎科目	40 単位以上	上限 20 単位
専門専攻科目	40 単位以上	上限 20 単位
合計単位数	124 単位以上	上限 60 単位

なお、既取得単位の認定は教務委員会で個別に審査する。